

厚真町まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略（案）の概要

長期ビジョン(人口ビジョン)

第1 長期ビジョンの位置づけ・目標年度

- 総合戦略の展開に向けた重要な基礎。
- 平成 72(2060)年目標
※平成 22(2010)年を起点に 50 年後。

第2 人口動向等の分析

- 昭和 33(1958)年、10,597 人がピーク
⇒平成 22(2010)年、4,890 人まで減少。
- 年少人口⇒急激減少、老年人口⇒増加。
- 近年＝死亡数＞出生数で自然減が拡大。
一方、転入数＞転出数で社会減が緩和。

第3 人口の将来推計と分析

- 30 年後、社人研 3,054 人・創成会議 2,799 人、50 年後各 2,084 人、1,673 人と推計。
- 人口推計シミュレーションの影響度
＝自然増減＜社会増減

第4 人口減少が地域の将来に与える影響

- 住民生活や地域経済、財政状況・公共施設維持管理・更新等への影響

第5 人口の将来展望

- 目指すべき将来の方向
- ①しごとの創生＝“みのり豊かなあつま”＝元気な産業のまち
- ②ひとの創生＝“人が輝くあつま・健やかで安心なあつま”＝若い世代の希望がかなえられるまち、健康長寿のまち
- ③まちの創生＝“快適に暮らせるあつま・みんなで支えるあつま”＝いつまでも安心して住み続けられる確かな地域力を持つまち
- 人口の将来展望
- ①合計特殊出生率 1.36(現在)⇒1.60(2020)⇒1.80(2030)⇒2.07(2040)(目標)
- ②純移動 ⇒ 年間 30 人転入者増(目標)
- ③人口の将来展望(現在 4,890 人(平 22))

30 年後⇒4,300 人 50 年後⇒3,800 人

人口減少問題の克服(人口の社会増)

確かな地域力の向上(成長産業化・雇用確保)

まちの将来像

あつまる つながる まとまる 大いなる田園の町 あつま

総合戦略(平成 27～31 年度・5 年間)

基本目標と基本的方向

- ★基本目標① みのり豊かなあつま
- ◎基本的方向(5つの方向)
- 「農業の振興」「林業の振興」「水産業の振興」「商工業の振興」「観光・交流のまちづくりの推進」により“元気な産業のまち”をめざす。
- ◎数値目標
- ◆第 1 次産業生産額:年間58億円(50億円)
- ◆商品販売額:年間38億円(32億円)
- ◆新規就業者数:40人/5年間(15人)

- ★基本目標② 人が輝くあつま・健やかで安心なあつま
- ◎基本的方向(7つの方向)
- 「子ども・子育て支援の充実」「学校教育の充実」「社会教育の充実」「生涯スポーツの振興」「高齢者福祉・介護の充実」「社会福祉の充実」「保健・医療の充実」により“若い世代の希望がかなえられるまち・健康長寿のまち”をめざす。
- ◎数値目標
- ◆合計特殊出生率:1.60(1.36)
- ◆厚真町学習アンケート:授業の内容が分かる児童・生徒100%
- ◆健康寿命:男性64.7歳・女性66.6歳延伸

- ★基本目標③ 快適に暮らせるあつま・みんなで支えるあつま
- ◎基本的方向(7つの方向)
- 「都市基盤の充実」「環境保全の推進」「快適な住環境の確保と定住促進」「消防・防災の強化」「防犯・交通安全対策の強化」「住民自治の推進」「健全な行政運営の推進」により、“いつまでも安心して住み続けられる確かな地域力を持つまち”をめざす。
- ◎数値目標
- ◆住宅分譲地の販売:50区画/5年間(12区画)
- ◆移住・定住人口(社会増):150人/5年間(17人)

主な具体的施策

- 農業・林業・水産業の成長産業化
- 農業・林業・水産業の担い手育成・確保
- 経営の法人化・雇用機会の創出
- 農商工連携、6次産業化の推進
- 起業化支援の充実
- グリーン・ツーリズムを中心とした観光振興の充実
- あつまで育った子ども達が地元に戻って活躍できる環境づくり
- 地域の素材を生かした特産品開発の推進
- テレワークを活用したサテライトオフィス等地方移転可能企業の誘致や人材誘致
- “あつま版ネウボラ”による出産から子育てに至る切れ目のない支援
- 地域の異業種の若者世代が気軽に集える社交の場づくりと結婚支援
- 義務教育9年間をつなぐ小中連携と英語を活用できる児童生徒の育成
- 生涯を通じた多様な学習活動の推進
- 生涯を通じた多様な体力づくりの推進
- 厚真町地域包括ケアシステムの確立
- シルバー世代の社会参画
- ボランティア、地域住民による見守り支援
- 地域に密着した保健指導の推進
- 地域公共交通対策の充実
- 情報通信基盤の整備
- 循環型社会の構築、生活排水の適正処理、自然環境の保護・保全、自然エネルギーの有効活用
- 厚真・上厚真両市街地の活性化に向けた環境整備と土地利用構想
- 住宅の確保(子育て支援住宅の整備等)
- 空き家・空き店舗の地域内流通システムの構築
- 地域防災体制の強化、防犯・交通安全対策の推進
- 地域活動の活性化、きめ細かな情報発信
- 「PDCAサイクル」による事業の進行管理

主な重要業績評価指標(KPI)

- 農業粗生産額:56億円(48億円)
- 道営ほ場整備事業進捗率:83%(64%)
- 国営農業用水再編対策事業進捗率:100%(62%)
- 農業後継者・新規就農者数:30人※5年間
- 農業生産法人設立数:15法人(12法人)
- ハスカップ生産量:40t/年(34t)
- 観光入込客数:17万人(15万人)
- 造林面積:100ha/年・維持(100ha)※5年平均
- 新規林業従事者数:5人(0人)※5年間
- 総漁獲高:1.6億円・維持(1.6億円)
- 新規漁業者数:1人(0人)※5年間
- 6次産業化事業数:2件(0件)
- 新規起業数:15事業所(4事業所)※5年間
- U・Iターン者数:10人(0人)※5年間
- 特産品商品化数:5品目(0品目)※5年間
- サテライトオフィス立地数:2社(0社)※5年間
- 合計特殊出生率:1.60(1.36)
- 婚姻数:12組以上/年(10組)
- 厚真町学習アンケート:授業の内容が分かる児童・生徒割合100%
- 実用英語技能検定3級以上(中3):50%以上(取組なし)
- 放課後子ども教室参加率:100%(89%)
- 学習成果の活用実績:100%(50%)
- スポーツ施設を利用した合宿者数:2,000人(1,700人)
- 要介護率:推計値25.3%以下(16.7%)
- 高齢者共同福祉住宅入居者数:10人(0人)
- シルバー人材センター登録者数:70人(58人)
- ボランティアセンター登録者数:200人(140人)
- 障がい者就労継続支援B型事業所利用者数:10人(0人)
- 健康寿命:男性64.7歳・女性66.6歳延伸
- 特定健診受診率:70%(52.6%)
- 循環福祉バス利用者数:5,000人(4,500人)
- あつまネット加入者数:100人(82人)
- ゴミの処理量:1,035t(1,140t)
- 水道普及率:95%(84%)・O水利用率:76%(70%)
- 樹林樹木保全協定面積:71ha維持(71ha)
- 住宅太陽光発電設備補助:30棟※5年間
- 住宅分譲地の販売数:50区画※5年間
- 子育て支援住宅入居者数:90人(28人)※5年間
- 空き家の活用軒数:30軒(4軒)※5年間
- 自主防災組織設置数:10自治会(1自治会)
- 交通事故死者:交通事故ゼロのパーフェクト達成(0件)
- 自治会加入率:93%(88%)
- 公共施設延床面積:8.49 万㎡未満